

## 浦賀ウォーキング報告

**1.日時** 2023年12月2日(土) 10時～17時30分(快晴)

**2.集合場所** 京浜急行 浦賀駅

**3.参加者(敬称略)** 安池、大友、白井、若生、甘粕、篠崎、前島、上野、阿部、加藤寛、佐藤忠司、高尾、平野、松浦、早坂夫妻、加藤義久、杉沢、野中、小林、宮本、高橋

埼玉から6人 千葉から1人 神奈川16人

**4.コース** 浦賀駅～水のトンネル～八雲神社～乗誓寺～顕正寺～東林寺～東叶神社～渡船～船番所跡(昼食)～川間の饅絵～浦賀奉行所跡～愛宕神社～西叶神社～浦賀郷土資料館～懇親会～浦賀駅

### 5.実施もよう

天気は快晴、微風で絶好のハイキング日和、参加者は97歳の白井さんをはじめ22名記録的な参加人数でした。

今回は神奈川に限らず、広範囲な周知により、埼玉、千葉から多数の参加をいただきました。

コースは浦賀湾を時計方向に巡るルートで出発、水のトンネルを経て八雲神社へ、屋根には宝珠が乗っており、お堂のような趣、庇には龍の彫り物のような饅絵が飾られている。

次は乗誓寺、境内を見学しているとお寺の住職が来られ、鐘をついてもいいですよ！と声をかけられ、日ごろの憂さ晴らしか？それとも〇〇祈願か？力を込めて「ごーーん、ごーん」久々に鐘の音色を聞く事ができました。



浦賀は昔からの歴史の街狭いエリアに神社仏閣が多くある。

顕正寺をざっと見て、間もなく東林寺に到着、ここでは浦賀の偉人「中島三郎助」親子の墓がある。墓参りをして東叶神社へ！

叶神社は東と浦賀湾を隔てた向こうに西叶神社があり一対の神社である。叶神社の名前は源頼朝が源氏最高の願いが叶えられ叶神社と改められたとされている。

境内に右奥に井戸があるこの水を硬貨に掛け流すと弁天様のご利益で「開運と金運」のご利益があるとか・・・鎌倉の銭洗い弁天と同じご利益か？

皆さんあやかろうとコインを掛け流していました。果たしてその効果は？

これから対岸に渡る船に乗る。乗船時間は約5分程度、定員は9人、横須賀市が運営している。



不定期船で呼ボタンを押すとポンポン船がやってくる。三往復して全員渡船後浦賀奉行所船番所跡で記念写真



遠く房総の海を見ながらのんびりと昼食、為朝神社を参拝し、その先にある川間町内会館の軒下にある鳳凰の饅絵を拝見し、浦賀奉行所跡へ、浦賀奉行所は船改めを始めとして海難救助、地方役所、海防の防衛と日本の歴史上重要な役割を果たしてきた奉行所である。

少し時間に余裕があったので、愛宕山公園に行く、標高差約 50mの続く階段をハアハアいいながら登る。「中島三郎助の大きな招魂碑」と浦賀から出航した「咸臨丸出航の碑」と「与謝野鉄幹の歌碑」がある。



しばらく東京湾その先に見える房総の絶景を堪能し、西叶神社へ、浦賀で一番大きな神社で社殿をとりまく彫刻、神殿の棟柱を担ぐ力士像、社務所の欄干壁の「馬温公」を題材とした石川善治作の鍔絵など、見どころが豊富である。今も昔も厚い崇敬と深い信仰を受けている神社である。



次に郷土資料館へ、展示は浦賀奉行所関係の模型、鳳凰丸・咸臨丸・ペリー艦隊の船舶の模型、特に中島三郎助関係資料は充実している。

浦賀へ来られた時は是非見学して欲しい。

ここで浦賀のハイキングは終了であるが、この後神奈川ハイキングサークル恒例の懇親会へ、懇親会参加者19名、近くの「居酒屋・ポンポン船」を貸し切り、埼玉の高尾さんの乾杯の音頭で、ミニ無線同窓会の様相、あっという間の楽しい2時間が経過し、無事今回のウォーキングを終了することができました。



皆さんご協力ありがとうございました。



神奈川ハイキングサークル幹事一同